

サイクル FIELLE

広島工業大(広島市佐伯区)の食品生命科学科の学生有志による「西条水質調査隊」は、東広島市の酒都西条の蔵元が使う酒造用水を分析しています。3年生10人、2年生6人で7月に発足しました。講義の中で醸造に関心を持った学

生が広島酒造りに役立てられ
ばと挑んでいます。

隊員は8月から月に1度、JR西条駅の南の酒蔵通りにある酒造6社に行き、各社が所有する井戸8カ所の水質分析をしています。分析項目は硬度や水素イオン濃度など6項目です。正確を期すため、全項目で複数回、分析します。

酒造りに使う井戸水は、蔵元の北部にある龍王山の伏流水です。隊員たちは発足前の6月、「ひろしま『山の日』県民の集い」にあつた龍王山の清掃や手入れにも参加し、酒蔵の人たちが一体で守っている龍王山の大切さを体感しました。

調査隊は本年度、学生が自



龍王山の清掃活動

主的に企画した公共性や公益性が高いプログラムを大学が応援するチャレンジ制度に応募し、採択されて資金援助を受けました。分析した水質データは酒造りに役立ててもらうため、年明けにもそれぞれの蔵元に提供します。また、

酒造り貢献 清掃活動も



水質を分析するメンバー

来年3月には採択されたプログラムのチームが一堂に集まる報告会の場で、西条の水質保全についても提言したいと考えています。



リーダーの食品生命科学科3年・田中亚実さん(20) 講義で醸造や化学分析などを学び、用いる水によって、酒の味が違うことに興味を持ちました。

水がどのような特徴を持っているか分析をしたいと思い、5月に仲間を募りました。酒造会社や大学の協力を得ながら、酒造りや水質保全に貢献できるよう頑張りたいです。

大学院電気電子工学専攻1年・松田僚太が取材しました

